

# 一般社団法人日本CFO協会2024年度事業報告書

自2024年4月1日 至2025年3月31日

## 1. 事業報告

2024年度は、中東・ウクライナ情勢の長期化をはじめとした不透明な国際情勢のなか、活発化するアクティビストの行動に代表される資本市場からの圧力の高まりもあり、企業のCFOや財務幹部にとって大きな緊張を強いられる年度となりました。また、生成AIの活用が拡大する一方、サイバー侵害が多発しデータガバナンス強化も課題になるなど、より重要な役割を担うCFO機能の強化を支援させていただくべく、当期も会員の皆様の関心の高いテーマを取り上げ様々なサービスをご提供して参りました。具体的な活動内容は以下の通りです。

### (1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、オンラインにて17回開催しました。
- ・ FP&Aの普及啓蒙の観点から、8月より毎月FP&Aセミナーをオンラインにて開催を開始し当期は10回開催しました。

CFOセミナー、FP&Aセミナーの詳細はこちらをご参照ください。

[https://www.cfo.jp/seminar/cfoseminar\\_archives/](https://www.cfo.jp/seminar/cfoseminar_archives/)

- ・ 啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

[CFO X!!](#) (7月23日、24日、25日、26日)

「CFO経営」進化論 (会場開催及びオンライン開催)

[CFOフォーラム・ジャパン2024](#) (12月11日、12日、13日)

「未来を拓く戦略的変革と価値創造」 (オンライン開催)

[Corporate Executive Forum 2024](#) (12月18日) 「最高の経営を目指して！」

(紀尾井カンファレンス《東京・千代田区》)

- ・ 次世代のCFOを担う方々を対象とした勉強会「[次世代CFO会議 \(Next CFO Society\)](#)」もオンラインにて3回、集合形式で2回開催しました。  
また、人事部門や法務部門を含めたコーポレート部門の方々を対象とした「次世代コーポレートエグゼクティブ会議2024」(9月27日、28日)を京都にて合宿形式で開催しました。
- ・ 法人会員を対象にFP&A機能の実装・強化に向けた取り組みを共有する「[FP&A研究会](#)」を2024年7月から2025年3月にかけて全8回(オンライン7回・集合形式1回)開催しまし

た。

- ・ 寄付講座を以下の通り 2 講座開催しました。  
多摩大学寄付講座      [「ベンチャーCFO講座」](#)  
東京都立大学寄付講座      [「経営学特別講義<事業リスクマネジメント>」](#)
- ・ オンライン情報誌「[CFOFORUM](#)」を毎月発行しました。

## (2) 資格・検定活動

- ・ 経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は 5,646人となり、受験者は累計90,156人になりました。
- ・ 専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための連結決算実務検定の受験者は47人となり、受験者数は累計で592人になりました。
- ・ 経営企画スキル検定（FP&A）の受験者は345人となり、受験者数は累計で1,378人になりました。
- ・ 当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが313人、グローバルCFOが196人、プロフェッショナルCFOが322人、スタンダードCFOが273人となり、CFO資格認定者は合計で1,104人となりました。

## (3) 調査・研究活動

- ・ 経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて 5 回実施しました。

### 企業のグループガバナンスに関する現状と課題

（調査期間：4月19日～ 5月24日）

### 経理部門のDX推進に向けた実態と課題2024

（調査期間：6月13日～ 7月2日）

### 経営管理(FP&A)機能強化の現状に関する調査

（調査期間：7月26日～ 8月20日）

### 未来を拓く経理DX - 世代を超えた挑戦と可能性

（調査期間：9月26日～ 10月25日）

### 活発化するアクティビストに対する日本企業の対応と課題

（調査期間：12月2日～ 2月3日）

- ・ サーベイの結果をもとに研究会「「アクティビストとの建設的対話とガバナンス強化への挑戦」（3月13日）を開催しました。

## (4) 会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数217人、法人会員の新規入会社数28で、当期末の会員数は個人会員が1,911人、法人会員は260社となりました。

## (5) 損益の状況

- ・ 売上高は、入会金収入6,485千円、会費収入74,636千円、受験料収入46,461千円が主な収入を占め、136,730千円となりました。
- ・ 費用は、広報活動費26,674千円、編集費12,862千円、試験実施費18,325千円、販売費および一般管理費53,060千円が主な費用を占め、131,716千円となりました。
- ・ 営業利益は4,360千円、当期純利益は4,944千円となりました。

## 2. 2025年度の活動

### (1) 活動計画

急速な発展を見せる生成AIの活用を想定したCFO組織の在り方を再構築する取組や、不透明な将来予測を支援するための経営管理基盤の強化やFP&A機能の実装に向けたテーマをはじめ、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において活動を行っていく予定です。また、コロナ禍以降続いていたオンラインでの情報提供に加え、会員の皆様が相互に交流や意見交換ができる会場での活動をより充実させてまいります。尚、2025年度は創立25周年に当たることから、会員の皆様への感謝の気持ちを込めまして周年記念事業も行ってまいります。

### (2) 事業予算

2025年度は、入会金収入8,150千円、会費収入81,509千円、受験料収入58,000千円と、売上高は158,159千円を予定しています。創立25周年記念に関する費用26,000千円を含め、費用は164,524千円を予定しており、税引前利益は▲6,365千円を予定しています。

以 上